



石巻広域クラブ通信 <No.107>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3, Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2 階 YMCA 石巻センター
電話 090-1373-3652(川上) 090-2365-7940 (清水)

2025年8月号

E-mail : gishinomaki@gmail.com

E-mail: koichi6759@outlook.jp

== 2025-2026 年度 主題 ==

クラブ会長 石川光晴「瓦礫、命、感謝。次の未来へ！」～大会テーマとともに～
北東部部長 三田庸平(もりおか)「ユースと共に明るい未来を」
東日本区理事 山下真(十勝)「ワイズのらしさ再発見」
アジア太平洋地域会長 田上正(熊本むさし)「信念と愛をもって行動しよう！」
国際会長 エドワード・オン(シンガポール)「信念、愛、行動」

<今月の聖句>

「何事にも時があり 天の下
の出来事にはすべて定められ
た時がある」(コヘレトの言葉
3:1)

<強調月間：戦略2032>

2025 年8月第一例会プログラム

日 時 8月22日(金) 18:30～20:30

場 所 YMCA 石巻センター

<例会プログラム>

司会：川上直哉

1. 開会点鐘 会長 石川光晴
2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 司会
4. 会長あいさつ 会長 石川光晴
5. 北東部部長公式訪問挨拶 北東部部長 三田庸平
6. 今月の聖句・お祈り 直前会長 関川祐一郎
7. 食事と懇談 一同
8. ゲストスピーチ

日本ルーテル同胞教団石巻希望の家牧師 伊藤治哉様
テーマ：「私と石巻」(プロフィールは4頁右列を参照)

9. 諸報告 担当者
 - ①仙台 YMCA 報告②石巻大会第5回ホスト委員会
 - ③北東部第1回評議会④東北ヘルプ能登支援ワーク
 - ⑤第31回アジア太平洋地域大会&AYC⑥その他

10. ハッピーバースデー

17日：日野由利さん、 20日：石田信正さん
31日：石井龍子さん

11. ニコニコ

「YVLF 参加支援のために」 会計

12. 閉会あいさつと点鐘 会長 石川光晴

ノーモアヒロシマ・ナガサキへの願いを込めて

～仙台平和七夕飾り50周年～



クラブ会計 清水 弘一

今年も仙台七夕祭りが8月6日～8日の3日間、市内のメイン通りに色とりどりの吹き流しで飾られ多くの観光客で賑わいました。
初日8月6日はヒロシマ・ナガサキ被爆80年になります。今年も全国からノーモアヒロシマ・ナガサキの祈りを込めて約100万羽の折鶴が仙台 YMCA やワイズメンズクラブメネット会が協力する「平和を祈る七夕市民のつどい」(油屋重雄代表)に送られてきました。内20万羽を5本の吹き流しにして飾りました。市民のつどいはこの活動を始めて今年で50年を迎えました。観光客の皆さんにはレイを配り、共に核兵器のない地球が一日も早く実現しますように！と祈りました。(↓6日早朝、飾り付け作業後の関係者)



■7月データ / 8月号内容：8月例会プログラム、巻頭言(仙台平和七夕50周年)、7月第一例会報告、8月拡大役員会報告、YMCA 報告、8～11月クラブスケジュール、ヨガ教室案内、能登半島地震支援活動報告、第31回 AC 熊本 2025 報告、AYC 参加報告

7月例会出席	14名	在籍会員数	18名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	12名	月間出席者	12名	スマイル	20,600円	20,600円
ビジター・メネ	0名	メーキャップ	1名	ファンド	0円	0円
ゲスト・コメ	2名	月間出席率	72%	BF	0円	0円

会長 石川 光晴
副会長 日野峻・阿部かよ子
書記 川上 直哉
会計 清水 弘一
直前会長 関川祐一郎
担当主事 半澤 明美
監事 川上 恵

7月第一例会報告

日 時 2025年7月25日(金) 18:30~20:30

場 所 YMCA 石巻センター

出席者 関川祐一郎(Z)、石川光晴、青木満里恵、大林健太郎、梶原友広、川上直哉、川上恵、川上灯、川上奏、櫻井美智江、清水弘一、半澤明美、日野峻、石田信正(MC)

1. 開会点鐘 会長 石川 光晴
2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 司会
4. 会長あいさつ 会長 石川 光晴
5. 今月の聖句・お祈り 関川祐一郎
6. 食事と懇談
7. 2025-2026 年度年次総会(議長選出:関川直前会長)
 - (1) 2024-2025 年度収支決算報告と監査報告承認の件
 - (2) 2025-2026 年度会長方針と事業計画の件
 - (3) 〃 年間計画について
 - (4) 〃 年度収支予算案について
 審議の結果、いずれの議案提案も承認されました。

9. 諸報告 担当者
 - ①仙台 YMCA 報告②石巻大会第5回ホスト委員会について③北東部第1回評議会について⑤東北ヘルプ能登支援ワークについて⑥その他
10. ハッピーバースデー 19日:梶原友広さん
11. ニコニコ
 - 「AYC 熊本大会参加支援のために」 会計
12. 閉会あいさつと点鐘 直々前会長 青木満里恵

<例 会 報 告>

ホスト委員長/書記 川上直哉

ワイズメンズクラブは「7月から6月」をもって「一年度」としています。7月は、「キックオフ」の月となり、その例会は「総会」を行うこととなります。

今回も、昨年度の総括と、新年度の方針を審議しました。基本的には役員会で話し合ったものでした。最近では、役員会に出席される方も限られており、多くの方が、この日、はじめて資料を見る、ということになっていたようです。たくさんの質問や議論がありました。丁寧に、提案者である清水さんが対応されたことを、感謝して拝見していました。そのおかげ様です。無事に、すべての議案は承認を得、新しい年度を始めることが出来ます。

「月額3,000円」の会費で、「青少年の健全な育成」を行うボランティア団体を、国際的な繋がりの中で行う。それが私たちワイズメンズクラブです。

この会費が、高いか、安いか、議論はあると思います。他の団体と比べると、決して「高い」ものではないようにも思われますが、もし、私たちが主体的に関わっていないなら、あるいは「お客様」として「頼まれたから付き合っている」とすれば、これはやはり「高い」という感じを持つかもしれません。総会は、その会費の使い方を決めるための会議です。ワイズメンズクラブの「国際協会」と「アジア太平洋地域」と「東日本区」と「北東部」と、それぞれの活動も、この会費で維持されます。また、この会費を納入することで「仙台YMCAの維持会員」となることにも、なっています。そうした支出の結果として、国際的・全国的な繋がりに参加し、出会いを得、友だちを作ることが出来る。その上で、「ファンド事業」を行い、活動費を補充して、石巻でのボランティア活動を行う。そのために、総会があります。

今回も、ほとんど全てを清水さんが準備されました。まるで「お客さん」のような自分自身を、今回も、恥ずかしく思いました。いつか、自分自身がその限界を乗り越えて、「自分の活動」として、毎年の総会に臨むことが出来ればと、反省し、考えさせられたことでした。

クラブスケジュール(8月~11月)

プログラム名	月 日	場 所
クラブ 8月第一例会	8月22日(金)	石巻センター
YMCA ヨガ教室 (P48)	8月27日(水)	新蛇田集会所
区大会ホスト委員会 (第6回)	9月1日(月)	オンライン 19:30~
9月拡大役員会 (開催日変更)	9月5日(金)	石巻センター
福島 YMCA/ワイズ設立 構想会議 (第4回)	9月17日(水) 13:30~15:30	福島市のあしあとキリスト教会 (オンライン)
YMCA チャリティーマラソン 2025	9月23日(火/祝)	仙台市西公園
9月第一例会	9月26日(金)	石巻センター
北東部フォーラム	10月4日(土) 11:00~17:00	コラッセふくしま 401
10月拡大役員会	10月10日(金)	石巻センター
YMCA チャリティーマラソン大会	10月16日(木)	泉国際ゴルフCC
10月第一例会	10月24日(金)	石巻センター
北海道部大会	10月25日(土)	札幌市
11月拡大役員会	11月14日(金)	石巻センター
かながわ部大会	11月22日(土)	横浜市
11月第一例会	11月28日(金)	石巻センター

8月拡大役員会報告

日時 2025年8月8日(金) 18:30~20:00

場所 石巻センター

出席者 青木満里恵、川上直哉、清水弘一、石井龍子
大林健太郎、川上恵

1. 開会点鐘 川上書記
2. ワイズソング 一同
3. 会長代行あいさつ 川上書記
4. 軽食 一同

5. 報告事項

(1) 2025年7月第一例会の開催報告

日時 第一例会: 2025年7月25日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

内容 2025-2026年度年次総会(議長選出: 関川祐一郎)

①2024-2025年度収支決算報告と監査報告承認の件

②2025-2026年度会長方針と事業計画の件

③ 〃 年間計画について

④ 〃 年度収支予算案について

上記(1)~(4)は、いずれも承認されました。

出席者 前ページ7月第一例会を参照

(2) 2025-2026 クラブ前期半年報の報告と Roaster の確認(修正)

・前期半年報: 2025年7月1日現在 18名

・Roaster 2025年7月1日現在の住所、連絡先、メールアドレスの確認

(3) ひきこもり寺子屋開催について

場所 2025年7月19日(土) 10:30~12:00

会場 石巻市健康保険相談センター

主催 法人格なき社団シャローム

次回開催 2回目: 8月23日 3回目: 9月20日

(4) 第31回アジア太平洋地域大会熊本2025報告

日時 2025年8月1日(金)~3日(日)

場所 熊本城ホール、ホテル熊本日航

参加者 川上直哉、石井龍子、櫻井美智江、大林祐子、清水弘一、

第一日目(8月1日): 開会式、IP・AP就任式、基調講演、IP・AP Night、文化交流・アピール

第二日目(8月2日): エクスカーション、AP Night、AYC参加者のパフォーマンス

第三日目(8月3日): 日曜礼拝、国際書記長報告、ユース報告、2026年国際大会アピール(9月10日~13日、In Dubai)、閉会式

参加者 東日本区90名、西日本区319名、海外204名 計613名

(5) 2025-2026 北東部第1回評議会報告

日時 2025年7月26日(土) 14:00~16:00

場所 アイーナ・いわて情報交流センター

参加者 清水弘一

↓評議会写真



(6) 2025-2026 あずさのつどい参加報告

日時 2025年7月26日(土) 10:00~12:00

場所 東京 YMCA 山手センター

参加者 関川祐一郎

(7) 能登半島地震支援ワーク(東北ヘルプ主催)

日時 2025年7月28日(月)~30日(水)

場所 輪島市杉平町第一団地集会所、能登国輪島重蔵神社(禰宜 能門亜由子)

参加者 浦嶋浩一、川上直哉、中澤竜生、宮本約、清水弘一

(8) 東日本区石巻大会第5回ホスト委員会報告

日時 2025年7月31日(木) 19:30~21:00

場所 オンライン

議事 ①プログラム委員会②会場・交通委員会
③登録・宿泊委員会④広報と物産委員会
⑤事務局 ⑥大会実行予算など

6. 協議事項

書記 川上直哉

(1) 8月第一例会の開催

日時 2025年8月22日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

内容 ①ゲストスピーカー: 石巻希望の家牧師
(House of Hope) 伊藤治哉 様

親子・支援者で参加するイベントを
シャローム ノアが主催
(ボランティアもいれます)

レッツ当事者研究!
ひきこもり寺子屋

皆さん、こんにちは。
梅雨入りが報道され、東北地方の空にも梅雨の雲が低い小雨を降らせています。
もうすぐ初夏へと季節が変わります。皆様いかがお過ごしでしょうか。
「当事者研究」は、今から20年ほど前にわたる家の理事長の向谷地生良さんが考案され、北海道
河野で始まった精神障がい当事者やその家族を対象とした、自助活動です。
当事者研究は、一人で行うのではなく、仲間とともにテーマ(生活や悩み等)を共有し、対話を通じた
試行錯誤を重ねながら自分らしい生き方、暮らし方をともに構築するところに特徴があり、「自分自身
と、ともに」は、もっとも基本となる理念です。共に研究しましょう。
「ひきこもり寺子屋」は「ひきこもり」は我が子だけでない、現代の若者が抱える問題のトップとい
われるようになりました。精神科医で「ひきこもり」に関する多数の書籍を出版されている「斎藤
環」さんの本を勧読致します。勧読後、語りあいの時をもちます。心の荒野に希望の灯りをともすこと
が私たちの願いです。共に心の荒野のほとり立って語り尽くさない思いを語りあひましょう。
当事者、ご家族、支援者の方々参加費は無料です。募金歓迎いたします。

会場 石巻市健康保険相談センター

日時 下記表のとおり (3か月以上前の開場の予約ができません。)

協力 社会福祉法人遠河へてるの家・仙台当事者研究サークルソライブ
●北海道医療大学名誉教授 向谷地生良先生
●コーディネーター: シャローム ノア 代表 大林健太郎

開催日	ひきこもり寺子屋	座談会時間
2025年7月19日(土)	AM10:30~12:00 3階講義室	PM1:30~3:30 3階講義室
2025年8月23日(土)	AM10:30~12:00 3階講義室	PM1:30~3:30 3階講義室
2025年9月20日(土)	AM10:30~12:00 3階講義室	PM1:30~3:30 3階講義室

申込方法は
裏面に
記載して
あります

主催 法人格なき社団 シャローム ノア (旧シャロームいのちの家)
連絡先 〒986-0877 宮城県石巻市御崎5番5号・送迎はありません。 ☎090-8610-1950
0225-22-4802 shalom3711@gmail.com ※問合せは得意に
お任せください。

テーマ「私と石巻」

②第31回アジア太平洋地域大会熊本2025報告

③ 〃 AYC報告

④その他報告

(2) YMCAストレッチヨガ教室(パート48)の開催

日時 2025年8月27日(水) 10時～12時
ヨガ教室10時～11時 お茶会11時～12時
場所 新蛇田第一集会所
参加者 青木満里恵、川上直哉、平井順子、清水弘一

(3) 東日本区石巻大会第6回ホスト委員会の件

日時 2025年9月1日(月) 19:30～21:00
場所 オンライン方式
出席者 ①ホスト委員会メンバー②区大会実行委員会メンバー

(4) 9月拡大役員会と第一例会の開催

<拡大役員会>

日時 2025年9月5日(金) 18:30～20:00
場所 石巻センター

<第一例会>

日時 2025年9月26日(金) 18:30～20:30
場所 石巻センター
内容 スピーカー ソヨド・アブドゥル・ファッタ様
テーマ:「外黒人墓地問題について」

(5) 北東部フォーラム IN ふくしま開催について

日時 2025年10月4日(土) 10:30 受付開始 開会
11時 閉会 17時
場所 コラッセふくしま 401 会議室
会費 2,000円(エクスカーション、懇親会は別会計)
内容 11時～AYC/YVLF報告会 12:15～昼食 13:
15～16:00(ユース 交流会)
ワイズエクスカーション①駅周辺観光・温泉②
ユース見学 16時ユース発表、閉会式
17時解散(解散後17:30～懇親会)

(6) クラブブリテン8月号の発行について

発行日 2025年8月21日(木)、原稿締め切り8月17日(日)
内容 ①8月号巻頭言(清水)「平和七夕50周年を迎えて」②7月第一例会報告(川上)③YMCA報告(半澤)④能登半島地震支援ワーク報告(川上)⑤第31回アジア太平洋地域大会(熊本2025)に参加して(櫻井美智江、石井龍子、大林祐子)⑥AYC熊本に参加して(川上灯コメント)

(7) その他(今年度クラブ会費納入のお願い、その他)

7. 閉会あいさつと点鐘

青木満里恵

8月ゲストスピーカーのプロフィール



日本ルーテル同胞教団
石巻希望の家(House of Hope)牧師

伊藤 治哉 様

Haruya Ito

1960年8月生まれ、秋田県出身。日本ルーテル同胞教団石巻希望の家牧師。

70年代後半、新宿歌舞伎町での喫茶店伝道を経て80年から新しい賛美をテーマに賛美活動を始め、テレビ出演、国内及び米国ツアーを実施。明治学院中学・高校・大学を経て84年からミクタムに所属し、ジョイフルバンドのメンバー(Dr.)として小坂忠氏、岩渕まこと氏のバックを務め、毎年恒例の「出会いのコンサート」では日本の主要都市を巡回、85年のパット・ブーン来日の際には、久米小百合(当時は久保田早紀)、小林康弘らと共にミクタムバンドのメンバーとして武道館のステージで演奏した。

89年にミクタム退社後、Eddy Art Studioを設立し、グラフィックデザイナーとして活躍。1990年、渋谷区にグラフィック・デザイン会社(株)インタースコープを設立。2009年には(株)アサフ・クリエイティブ・ソーホーを設立。2013年、音楽レーベル、アルファトラックスを設立し、数多くのクリスチャンアーティストをプロデュース。デザイナーとして、所属アーティスト以外にも、岩渕まこと、森祐里、本田路津子、KISHIKO、サムエル、ラニー・ラッカー、ユーオーディア、ゴンミン(Paul M.)、国分友里恵、紫園 香、稲垣俊也等のジャケットデザインを手掛ける。2019年、神様の召命を受け献身。神戸ルーテル神学校に入学、2020からは仙台のルーテル同胞聖書神学校で学び、卒業後2022年より石巻希望の家の牧師として活動している。



担当主事 半澤 明美

① 夏休み中のプログラムが無事に終了しました。
7月から8月にかけて集中水泳、集中サッカープログラムや花山自然キャンプ、歌津での絆キャンプ、松島でのわんぱくキャンプ、石巻網地島でのキャンプなど様々な夏のプログラムが実施されました。事故なくプログラムを進められたことに感謝いたします。

なお、網地島での3日間のキャンプでは石巻広域クラブの協力で食料品やお弁当の手配をすることができました。

② 第31回インターナショナル・チャリティーラン2025が開催されます

9月23日(火・祝)に開催されるチャリティーランに向け準備が進んでいます。障がいのあるお子さんへの支援という趣旨を理解いただき、ランナーや募金が集まっております。今年度も西公園で行われる予定です。

詳細は別紙参照してください。



私たちが障がいのある子どもたちを応援しています！

第31回 仙台YMCA インターナショナル・チャリティーラン2025

日程：2025年9月23日(火・祝日)

会場：仙台市西公園中央広場



仙台YMCA
インターナショナル・チャリティーラン
大会会長
さとう 宗幸



私も仙台YMCA チャリティーランを応援します！

主催 公益財団法人 仙台YMCA
共催 ワイズメンズクラブ国際協会東北支部、仙台ワイズメンズクラブ、仙台青葉城ワイズメンズクラブ、仙台広瀬川ワイズメンズクラブ、石巻広域ワイズメンズクラブ、公益財団法人日本YMCA同盟
全国後援 内閣府、厚生労働省、スポーツ庁、子ども家庭庁、社会福祉法人 全国社会福祉協議会
ナショナル・スポンサー



スポンサー マテル・インターナショナル株式会社
サポーター 特定非営利活動法人アソシエーション・ポテンシャル
特別協賛 さとう音楽事務所
後援 宮城県、仙台市、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、社会福祉法人宮城県がいの福祉協会
一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会、日本赤十字社宮城県支部、NHK仙台放送局
TBS東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東北放送、河北新報



↑ 昨年のチャリティーランの様子

<パート48>

YMCA お楽しみストレッチヨガ !!

みんなで体を動かし心身をリフレッシュしましょう！

場所：市営新蛇田第一集会所

開催日：2025年8月27日(水)

時間：ヨガ教室：10:00～11:00 お茶会：11:00～12:00



ご案内とお願ひ

▼例年にない厳しい残暑が続いておりますが、ストレッチヨガ教室で心身ともリフレッシュ、元気な体でこの暑さを乗り越えましょう。

▼ヨガ教室にはどなたでも参加できます。終了後のお茶会では、近況報告などを自由に語り、一緒に誕生日をお祝いしましょう。

▼当日は、下駄きマツ、タオル、飲み物を持参し、動きやすい服装でご参加ください。

▼会費は100円です。

お申込み方法

参加ご希望の方は、下記の方法でお申込みください。ただし、新型コロナウイルス等の感染状況次第では、人数制限を行う場合がありますので、ご了承の程お願い申し上げます。

<事前申込方法は次のとおりです>

・申込先：石巻広域ワイズメンズクラブ
・担当：清水 弘一 (しみず こういち)
・でんわ：090-2365-7940
・FAX：022-271-6763
・メール：koichi6759@outlook.jp
・お申込み切：2025年8月24日(日)

・FAXとメールにてお申込みの方は、折り返し、ご返事を差し上げますので、必ず連絡先をご記入ください。



主催団体

公益財団法人 仙台YMCA
石巻広域ワイズメンズクラブ

北東部フォーラム IN ふくしま



日時：2025年10月4日 10時30分～受付開始

開会 11時 閉会 17時

場所：コラッセふくしま 401会議室

会費：2000円 エクスカーション・懇親会は別会計

内容：

11時～ AYC 報告会

YVLF 報告会

12時15分 昼食

13時15分～16時

ユース・・・交流会

ワイズ・・・エクスカーション

① 駅近辺 観光・温泉 入館料等は別料金

② ユース見学

16時～ ユース発表・閉会式

17時 解散

※解散後 17時30分～ 懇親会 別料金

テーマ：「ユースと共に明るい未来を」

能登半島地震支援活動報告

一進まぬ復旧、でも能登の人の情は温かいー

クラブ書記・東北ヘルプ 川上直哉

2025年7月28～29日に、能登への支援活動に行きました。

今回は、NPO法人「東北ヘルプ」の支援活動に、日本基督教団石巻栄光教会と共に、ワイズメンズクラブも参加しての支援活動でした。支援の具体的な内容は、

- ① 伊東のシンガーソングライター・浦島浩司さんの仮設住宅コンサートを主催する。
 - ② 「東北ヘルプ」に集まった支援金を輪島の支援者にお届けする。
- というものでした。以上に加えて、
- ③ 日本基督教団石巻栄光教会で集められた献金を日本基督教団輪島教会にお届けする。
 - ④ 輪島市・珠洲市・穴水町・七尾市の被災状況を確認する。

という活動も加わりました。

7月28日の朝、石巻を出発しました。途中、浦島さんや清水さんを北陸新幹線でピックアップし、輪島市町野町へと向かいました。目的地付近には国民宿舎「やなぎだ荘」があり、入浴だけはできましたので、とても助かりました。目的地は「もとやベース」でした。昨年末に神戸ポートクラブとの合同支援活動で宿泊した場所です。ただ、今回、人気がなく、驚きました。「もとやスーパー」の一角をボランティアに提供してくださっているのが「もとやベース」ですが、その店長の本谷一知さんの御家族は、今、大阪にお住まいになっているのだそうです。周辺は、「公費解体」が進んでいることは確かでしたが、道路も電信柱も河川も、どこもかしこも「去年のまま」とお見受けしました。ただ、その中で「これで ええんやと おもいます」と繰り返される本谷さんの声が、とても印象に残りました。「ああ、こうして、この土地の人々は、この現状をしのいでいるのだ」と、大切なことを教わった思いがしました。

7月29日は、朝早く海岸線を通って珠洲市へ行きました。巨大ながけ崩れへの対応に公共事業が追いついていないことを、間近に見ました。その途中、「開道の祖 麒麟山和尚」の謂れを、記念碑を掃除していた方にお伺いできました。それは幕末頃の漂流民キリシタンの「天狗物語」でした。珠洲市にたくさんの方の復旧事業従事者の方を見て、私たちは輪島市街に向かいました。仮設住宅で浦島さんのコンサートを楽しみに行き、午後は重蔵神社を訪ねました。

その禰宜を務めておられる能門重由子さんに、たくさん、お話を伺いました。夕方、日本基督教団輪島教会を訪ね、少しの間、お話を伺い、「東北ヘルプ」の中澤理事の祈りをもって輪島を離れました。

その日の夜は、能登島へ行きました。震災で倒壊した民宿を「手作り」で直し、この8月から再開しようとしていた「えのめ荘」さんが、私たちのために特別に宿泊を用意してくださいました。「ボランティアできたのだから」とのご高配でした。えのめ荘の皆さんは、能登震災の後、東日本大震災の実際を見にも来てくださったそうです。近くの温泉で英気を養い、「天国」のような宿泊を得て、私たちはとても助かったことでした。

翌日、帰りの車中で「津波警報」を聞きました。すぐ「えのめ荘」のおかみさんが心配して電話をくださいました。能登の人の人情は温かいと、夙に聞こえていました。「ほんとうに、そうだ」と、実感させられたことでした。



もとやベースに一泊



杉平第一仮設住宅集会所



解体が進まない重蔵神社の家屋



↑8月より営業を再開する「えのめ荘」おくと被災旅館（右）



<大会テーマ>
「For Great Joy!」

<会 場>
大会：熊本城ホール
晩餐会：ホテル日航

Convention Programme

<1st day> Friday, 1 August

- 11:40 Doors Open (Kumamoto-Jo Hall, Main Hall, 4th floor)
- 13:00 Opening Ceremony
- 13:50 Installation of IP Edward, Installation of AP Tadashi Tanoue
- 14:50 Keynote Speech
- 16:00 ASP Area Report, IBC Signing Ceremony

●IPAP Night

- 18:00 Doors Open (Hotel Nikko Kumamoto, Room Aso, 5th floor)
- 20:15 Performance Time, Cultural Exchanges
- 21:30 Closing

<2nd day> Saturday, 2 August

Excursion①～⑤

○AP Night

- 17:00 Doors Open (Hotel Nikko Kumamoto, Room Aso, 5th floor)
- 18:00 AYC Performance, Singing with Song Book Team, Dance Otemoyan
- 20:00 Closing

<3rd day> Sunday, 3 August

- 8:30 Doors Open (Kumamoto-Jo Hall, Main Hall, 4th floor)
- 9:00 Sunday Service
- 9:40 IHQ Reports, AYC Reports
- 11:00 Closing Ceremony
- 11:30 Closing the Convention

<大会1日目>8月1日(金)

- 11:40 開場 (熊本城ホール4階メインホール)
- 13:00 開会式
- 13:50 国際会長就任式、アジア太平洋地域会長就任式
- 14:50 基調講演
- 16:00 アジア太平洋地域報告、IBC 締結式

●IPAP ナイト

- 18:00 開場 (ホテル日航熊本、5階 阿蘇の間)
- 20:15 文化交流
- 21:30 閉宴

<大会2日目>8月2日(土) エクスカーション

- AP ナイト (ホテル日航熊本、5階 阿蘇の間)
- 17:00 開場
- 18:00 AYC パフォーマンス、ソングブックチームの歌、おてもやん踊り
- 20:00 閉宴

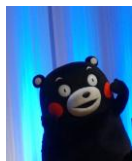
<大会3日目>8月3日(日)

- 8:30 開場 (熊本城ホール4階メインホール)
- 9:00 日曜礼拝
- 9:40 IHQ 報告、ユースコンベンテーション報告
- 11:00 閉会式 11:30 閉会

In case of emergency, please contact the following persons:

Chairperson, Host Convention Committee **Tadashi Tanoue** 090-3607-6494

General Secretary, Host Convention Committee **Kavoko Maeda** 090-5721-4705



アジア太平洋地域大会熊本に参加して

8月1日大会1日目は、午後1時に開会式が始まりました。基調講演では、ラオスでのYMCA設立に向けての活動報告で キリスト教への偏見などがあり設立にむけての困難な経緯を伺いました。晩餐会では、熊本の伝統の舞と大津太鼓清流会の力強い太鼓の演奏に感動しました。

2日目は阿蘇巡りツアーに行きました。大型バスに乗って、大自然のなかの草原を散策し、牧場ではソフトクリームを頂き、帰ってきました。夜は楽しい食事会と交流会を満喫しました。終了後、市内に出てみると、当日は熊本の夏を彩る「火の国祭り」でしたから、ホテルの帰り道活気溢れる踊りに出会いました。

3日目は朝の礼拝を川上牧師から頂きました。国籍の違い・宗教の違いを超えて力を合わせて仲間になることが平和に繋がることが語られ「聖書に聴き、祈りあい、困難があっても希望があることを確かめあいながら進んで参りましょう」と力強いメッセージをいただきました。

礼拝後、AYC参加のユースたちによるギター演奏がありました。川上灯さんのギター伴奏による「カントリーロード」を舞台上に上がったユースたちが皆で唱和し、その後 AYC メンバー一人一人の「平和についての思い」の発表がありました。残念ながら時間の関係で一部のメンバーだけの発表となり、せっかく準備して来た友には失礼なプログラムになってしまったようでした。

4日は石巻メンバーのツアーとして、水俣病記念館を訪問しました。アセトアルデヒド製造過程で発生したメチル水銀化合物が工場排水に混ざり、水俣湾の魚介類を汚染し、その魚を食べた住民が病気を発症し、そのことについて、国から「水俣病」と公式に認定されるまで12年もかかり、今現在でも、水俣病の症状があるにもかかわらず認定されない方たちがたくさんいらっしゃることを、学びました。

私たち震災被災地でも、たとえば福島原発汚染水の流出が「安全神話」に覆われており、甲状腺癌についても疑問を覚えさせられています。日本の報道の信用性に疑問を持ちつつの帰石でした。

参加者：石井龍子・櫻井美智江・大林祐子



オープニングセレモニー



川上牧師による開会礼拝



田上 AP 挨拶



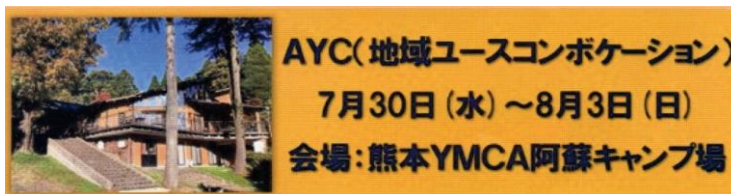
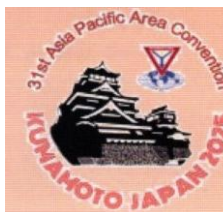
基調講演 (大野嘉宏氏)



エクスカーション (阿蘇)



2026 ドーバ IC アピール



AYC のテーマは
「Peace」



「伝える」ことの難しさ

～YMCA のユースが平和の実現を目指すということ～

仙台 YMCA ユースリーダー
石巻広域クラブコメット
川 上 灯

阿蘇 YMCA キャンプ場で、5 日間、アジア各国のユースと「Peace」をテーマにディスカッションを重ねた。参加者の大半は熊本旅行を楽しむことに注力していた。リーダー長の丸山啓太さんことオペリーダーは、AYC を「楽しかった、で終わらせたくない」と何度も繰り返した。彼は現役の医学部生で、勉強で得点することや周りの評価が大きな価値をもつ環境で育った。彼は、大学の同級生が、一つのテストに落第したことによって自ら命を絶ってしまったことを語った。日本は平和だと言われるが、果たしてそうなのか、と彼は提言した。最後の夜にキャンプファイヤーを行い、オペリーダーは自身の想いを英語で伝えようとした。時間が限られていたこともあり、想いが十分に共有されたとは言えなかった。今回の運営陣は日本人のリーダー・スタッフのみで構成されており、英語に堪能な人ばかりではなかった。「言葉の壁」の存在は大きかった。「今回ほど準備を重ねた AYC はかつてないのでは」と団長であり AYR (アジア太平洋地域ユース代表) の風間奈月さんことなっちゃんリーダーが言っていたために、参加者に伝わらない運営の想いを感じてやるせなかった。最終日まで、参加者個人の体験から意見を引き出し、平和の意味を問い直すような深い話し合いにたどり着くことは難しかった。「伝わる」ことの難しさは AC でも感じられた。AYC 参加者は「平和のために何ができるのか」というテーマで英語のスピーチを用意した。キャンプ場ではもちろん、熊本城ホールに向かうバスの中でも、緊張を分かち合いながら練習した。しかし AC の壇上に上がってから、時間の不足のために発表を制限されてしまった。壇上で「リーダー長からの一言」を求められた際、オペリーダーは臨時で通訳を頼み、「母語」で想いを伝えようとした。表彰式の時間や、ワイズメンズが話す時間を、ユースの発表時間に充てることもできた。支援者であるワイズメンズがユースの発言の機会を奪っては本末転倒である。しかし彼の想いが伝わらなかったことは明白だった。参加者は、悔しさを共有しながら AYC を終えた。ユースとワイズの間にも、「伝わる」ことの困難さがあった。AYC は平和と和解を実現することの困難さを思わぬ形でユースに突き付けた。平和の再考はここから始まるのかもしれない。筆者も一人の参加者として、また東日本区ユース代表として、ユースの声を YMCA 全体に届けたいと思った。



AYC 参加者 39 名



David PAP より終了証を受ける川上コメット

